

中医協「2013年度第2回 診療報酬調査専門組織・DPC評価分科会」 2013/4/24 新たなDPC評価手法として、CCPマトリックスを紹介

診療報酬調査専門組織・DPC評価分科会（分科会長：小山信彌・東邦大学医学部特任教授）は4月24日、DPCの新たな評価手法（CCPマトリックス）について議論を行った。

CCPマトリックスとは、手術・処置等と副傷病等の組み合わせによる医療資源必要度分類で、医療資源の必要度が似ているグループをまとめたもの（下表参照）。重症度等による医療資源必要度の違いの正確な反映と、支払分類数のコントロールの両立を可能とする新たなDPC評価手法とされ、今回、事務局及び藤森研司委員（北海道大学病院地域医療指導医支援センター長）より紹介された。

【CCPマトリックス】

		副傷病等		
		なし	糖尿病	尿路感染症
手術・処置等2	なし	低	低	中
	中心静脈栄養	中	中	高
	化学療法	中	高	高

※分科会の資料を基に作成

現行のツリー図と定義テーブルを用いて行う評価方法は、DPCの精緻化を進めるに当たって新たな分岐の作成が必要になり、支払分類数が細分化しすぎる可能性があると考えられている。現在、厚生労働省研究班でCCPマトリックスの研究が行われているが、事務局は現場に混乱を来すことを避ける観点から2014年度診療報酬改定での導入は厳しいとの見解を示し、中長期的な課題として検討することを提案した。

今後の課題としては、手術・処置等2や副傷病等の体系的な整理の他、手術・処置等1をCCPマトリックスに含めるかどうか——などが挙げられている。

委員からは、CCPマトリックスを評価する意見が多く出され、導入に向けて研究班及び同会でのさらなる検討を行っていくことで一致した。

■医療機関群Ⅲ群、2014年度改定での細分化に多くの反対意見

会合では、2014年度診療報酬改定に向けた医療機関群Ⅲ群の在り方についても議論を行った。

現在、DPC対象病院は施設特性に応じて、①Ⅰ群（大学病院本院）、②Ⅱ群（大学病院本院に準じた診療密度と機能を有する病院）、③Ⅲ群（①②以外の病院）——の3つの医療機関群に分類されている。Ⅲ群に関しては、美原盤委員（公益財団法人脳血管研究所附属美原記念病院）より「効率性や複雑性が高い専門病院とそうではない病院が存在しており、これらを平均的に評価するのは問題」との指摘がなされるなど、細分化を求める意見が複数出されていた。

これに対し、三上裕司委員（日本医師会・特定医療法人三上会総合病院東香里病院理事長）をはじめ多くの委員からは「細分化する基準の設定が難しい」など否定的な意見が相次ぎ、事務局も「Ⅲ群を細分化するかどうかは中長期的に判断していきたい」と述べた。

次回の開催日程は未定。